

令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

| | | | | | |
|-----------|-------------------------|--------|---------|-----------|--------------|
| 団体名 | 福井市 | | | 代表者名 | 西行 茂 |
| 担当者部署(属性) | 情シス担当 | 担当者部署名 | 行政DX推進課 | 連絡先電話番号 | 0776-20-5671 |
| 担当者役職 | 副主幹 | 担当者氏名 | 横井 絵理 | 連絡先E-mail | |
| 住所 | 910-8511 福井県福井市大手3-10-1 | | | | |

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

| | | | | | |
|-------|--|---------|--|-----------|--|
| 団体名 | | 連絡先部署 | | | |
| 担当者氏名 | | 連絡先電話番号 | | 連絡先E-mail | |

1-3. 支援を求める内容

| | | | | | |
|----------|---|-----|-----------------|--|--|
| 支援方法 | 職員向け啓発・研修(単独) | 事業名 | DXの機運醸成、マインドセット | | |
| 概要 | 職員のDXの機運醸成、マインドセットを目的とした研修を実施する | | | | |
| 支援を求める分野 | 人材(DX推進のための機運の醸成) 人材(DXに関する知識習得・研修・育成) 行政手続オンライン化 RPA導入 | | | | |

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

| | | | | | |
|-------------|---------------|----------------|------------|--------------|----------|
| 2-1. 対応日・時間 | 期日・支援内容の変更あり | 受付番号 | 変更後の派遣日 | 変更後に実施した支援内容 | 実地/オンライン |
| | 無 | | | | |
| | 派遣日予定日(申請書より) | 支援内容(申請書より) | 開始時刻 | 終了時刻 | 内休憩時間(分) |
| | 令和6年11月8日 | 講演(実地) | 13時30分 | 15時30分 | 5 |
| | | | 活動時間(分) | 115 | |
| 2-2. 派遣場所 | 会場名 | 福井市役所 | 最寄駅 | 福井駅 | |
| | 所在地 | 福井県福井市大手3-10-1 | 最寄駅からの交通手段 | 徒歩 | |

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

| | |
|-----------------------------|---|
| アドバイザー | 竹中 忍 |
| 評価 | 大変よい |
| 上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に) | 本市のDXの取組状況についてヒアリングされ研修内容のすり合わせを行った上で、DXの進め方について講義していただいた。東京都等の自治体でのDX支援やシビックテックの豊富な経験を交えてお話いただき、非常に説得力のある内容だった。出席者は業務に活かせるアイデアを得ることができた。 |
| アドバイザーへの要望事項 | 引き続きご指導いただきたいと思います |

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

| | | | | | |
|----------------|-------------------------|-------|-----|-------|-----------|
| 4-1. 支援を受けた対象者 | 属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】 | 合計人数 | 20人 | | |
| | 属性 | 自治体職員 | 住民 | 企業・団体 | その他(学生など) |
| | 人数 | 20 | | | |

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実際に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

| | |
|-----------------------|---|
| 事業の課題・問題点(具体的に記入下さい) | <ul style="list-style-type: none">DXの必要性は漠然と認識しつつも、何から始めていいかわからない日々の業務に追われ、業務を見直す時間がとれない業務改革について管理職の理解がないDXを進めるには何らかのツールを導入する必要があるが、予算がつかないことが多い |
| 支援により目指す成果(具体的に記入下さい) | 研修により職員一人一人がDXの必要性を認識し、その前提として従来のやり方にとらわれずに業務フローの改善すべき点等を常に意識し、業務の効率化に取り組むこと |

| | | |
|---|---|--|
| アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい) | <ul style="list-style-type: none"> ・2040年問題と合わせて自治体がDXに取り組むべき理由について ・生成AI等のDXのトレンドや先行自治体のDXの事例、地域課題の解決のためのシビックテック活動の意義について講義していただいた | |
| 支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい) | 業務が多様化する一方で職員数が限られる中で行政サービスの質を維持していくために、全庁的にDXに取り組む必要があることを職員が認識した | |
| 具体的な成果物 | 最も当てはまるものをリストより選択下さい。 研修の実施 | ⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない |
| 改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください) | 研修を受講していない職員に対するマインドセット | |
| アンケートの内容と分析結果 | 講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 研修受講アンケートを実施中であり、結果は後日確認予定 | |
| 4-3. 今後の計画 | 最も当てはまるものをリストより選択下さい | ④予算以外で、今後取組む事項がある 今回の研修をもとに、各所属で具体的な取り組みにつながるようなアプローチを考える |
| 4-4. 事業の最終的な目指す姿 | 各所属で業務改革を実施し、職員の負担軽減とともに市民サービス向上を実現する | |

5. 報告書に関する地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可 掲載可

<https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/>

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

